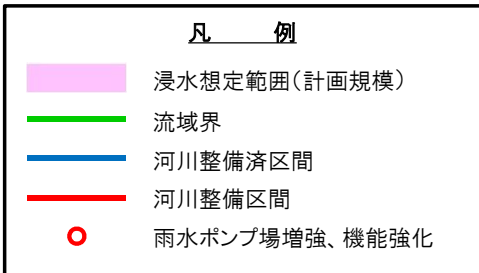


山崎川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～さくら咲く潤いあるまちを守る治水対策～

名古屋市



※本図の浸水想定範囲は、水防法に基づき、山崎川の水位周知区間において、河川が氾濫した場合の浸水範囲を予測したものであり、区間外での氾濫及び内水による浸水は含まれておりません。



- 治水対策は、下水道整備と整合を図りながら、年超過確率1/10の規模の降雨(24時間雨量205mm、1時間雨量63mm)による洪水を安全に流下させることを目標とする。
- 目標とする治水安全度を超える規模の洪水に対しては、発生した被害を踏まえて必要な対策を講じるとともに、地域住民や関係機関と連携し地域防災力の向上に努め、被害の軽減を図る。
- 治水、河川環境との調和を図りながら、良好に保たれた水環境を創出し、身近な自然に触れ合う機会を作るグリーンインフラの取組を推進する。

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 河川区域
 - ・堤防補強、河床掘削、護岸改築、橋梁改築・補強、移動ポンプ整備等
 - ・河道及び洪水調節施設の堆積土砂撤去、樹木等の植生管理
- 集水域
 - ・雨水排水網等の新設・増強
 - ・雨水ポンプ場の増強・機能強化
 - ・ため池、雨水貯留浸透施設等の保全・整備
 - ・雨水貯留浸透機能を持つ公園・緑地の整備・維持管理
 - ・緑地の保全・創出

【被害対象を減少させるための対策】

- ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成)
- ・水害リスクを考慮した居住誘導(立地適正化計画に基づく居住誘導)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・ハザードマップの更新及び普及啓発
- ・防災情報の提供
- ・「地区防災カルテ」を活用した学区毎の防災活動の実施
- ・各種訓練の実施
- ・分かりやすい教材等を用いた防災教育、防災人材育成の推進
- ・雨水流出抑制の普及啓発
- ・水循環に関する環境学習やパンフレット、看板等による普及啓発

【グリーンインフラの取組】

- ・緑地の保全・創出
- ・水環境の向上
- ・水辺の賑わい空間創出
- ・小中学生向けの河川環境学習
- ・雨庭、雨水浸透施設の整備促進、普及啓発

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



○ 山崎川水系では、流域全体を俯瞰し、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 下流部で堤防補強、護岸改築、橋梁改築を進め、雨水ポンプの増強などの内水被害軽減対策や流出抑制対策と合わせて、浸水被害の減少を図る。
【中期】 短期に引き続き、護岸改築、橋梁改築を進め、内水被害軽減対策や流出抑制対策と合わせて、浸水被害の減少を図る。
【中長期】 さらに、中上流でも護岸改築や河床掘削を進め、内水被害軽減対策や流出抑制対策と合わせて、流域全体での浸水被害解消を図る。
○ あわせて、市街化が進んでいる流域の特徴を踏まえて、安全なまちづくりや雨水流出抑制の普及啓発などの流域における対策、ハザードマップや防災情報発信などソフト対策を実施するとともに、グリーンインフラの取組を推進し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策	堤防補強、河床掘削、護岸改築、橋梁改築、橋梁補強、移動ポンプ整備	名古屋市	堤防補強完了		
	雨水排水網等の新設・増強	名古屋市	名鉄橋梁改築完了		
	雨水ポンプ場の増強・機能強化	名古屋市	山崎水処理センター場内ポンプ場増強完了		
	ため池、雨水貯留浸透施設等の保全・整備	名古屋市	内浜ポンプ場増強完了		
	河道及び洪水調節施設の堆積土砂撤去、樹木等の植生管理	名古屋市	ため池の耐震対策完了		
	雨水貯留浸透機能を持つ公園・緑地の整備・維持管理	名古屋市			
	緑地の保全・創出	名古屋市			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成)	名古屋市			
	水害リスクを考慮した居住誘導(立地適正化計画に基づく居住誘導)	名古屋市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	名古屋市			
	ハザードマップの更新及び普及啓発	名古屋市	更新		普及啓発
	防災情報の提供	名古屋市			
	「地区防災カルテ」を活用した学区毎の防災活動の実施、各種訓練の実施	名古屋市			
	分かりやすい教材等を用いた防災教育、防災人材育成の推進	名古屋市			
	雨水流出抑制の普及啓発	名古屋市			
	水循環に関する環境学習やパンフレット、看板等による普及啓発	名古屋市			
グリーンインフラの取組	緑地の保全・創出	名古屋市			
	水環境の向上	名古屋市			
	水辺の賑わい空間創出	名古屋市			
	小中学生向けの河川環境学習	名古屋市			
	雨庭、雨水浸透施設の整備促進、普及啓発	名古屋市			

プロジェクト開始から
短期：概ね5年
プロジェクト開始から
中期：概ね10～15年
プロジェクト開始から
中長期：概ね20～30年

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

【事業費(R3年度以降)】

■ 河川対策
全体事業費 316億円※1

■ 下水道対策
全体事業費 595億円※2

※1 山崎川河川整備計画の残事業費
※2 名古屋市公共下水道事業計画(R8年度まで)の残事業費